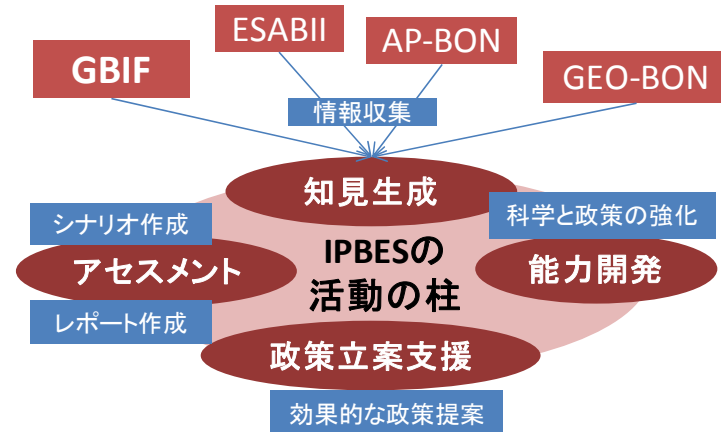


IPBES: 生物多様性と生態系サービスに関する科学政策プラットフォーム

Intergovernmental science-policy Platform on Biodiversity and Ecosystem Services

- 生物多様性と生態系サービスに関する動向を科学的に評価し、科学と政策のつながりを強化するための政府間のプラットフォーム（生物多様性版 IPCC）。
- 2008 年から検討が開始され、2010 年に設立の基本合意。本年 10 月に第 1 回総会を開催予定。
- 我が国は、IPBES 設立を積極的に支持。本年 7 月には IPBES に関する国際科学ワークショップを主催。
- 今後とも、特にアジア太平洋地域における IPBES の活動推進に向けて貢献していく考え。

生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム (IPBES)



IPBES 設立の必要性の基本合意 (第 3 回政府間会合 (2010 年 6 月、釜山))

2008 年 11 月以降、UNEP 主催による IPBES 設立に向けた政府間会合を開催。

COP10 の決定と第 65 回国連総会決議 (2010 年 12 月)

2010 年 10 月の COP10 にて、国連総会に対して IPBES の早期設立の検討を奨励する決定を採択。第 65 回国連総会にて、UNEP に対してできるだけ早期に IPBES の態様や体制を決定するための総会の開催を要請する決議を採択。

IPBES に関する総会 (2011 年 10 月、2012 年前半)

国連決議を受け、UNEP 主催による総会が開催される予定。

IPBES 総会に向けた非公式国際科学ワークショップ (結果概要)

＜目的＞

IPBES において実施される科学的評価の目的と内容に関する検討

＜開催概要＞

主催：環境省、南アフリカ政府、国連大学 (UNU) 協力：国連環境計画 (UNEP)

日程：平成 23 年 7 月 25 日 (月) ~ 27 日 (水)

会場：国連大学 (東京 青山)

参加者等 ①共同議長：武内副学長 (国連大学)、

Albert van Jaarsveld 氏 (南アフリカ国立研究財団)

②参加者 (招待ベース)：海外専門家 27 名及び国内研究者 11 名

＜成果＞

成果文書では、IPBES の特徴として、準地域、地域、地球規模の異なるスケールの評価を統合するというアプローチ (マルチスケール・アプローチ) を挙げ、第 1 回総会に対して、考慮すべき以下の点を提出。

- ・ 地域諮問委員会、科学委員会及び独立した審査委員会の設立
- ・ 全ての作業部会の活動に組み込まれた、能力構築作業部会の設立
- ・ マルチスケールで活動を行う評価作業部会の設立
- ・ アドホックの、地域作業部会・準地域小作業部会の設立
- ・ データと指標に関する小作業部会、シナリオ・モデルと不確実性に関する小作業部会の設立
- ・ 概念的枠組みの策定、定期評価の期間とサイクルの設計
- ・ マルチスケール・アプローチを補完する特定課題評価と初期評価の実施
- ・ 地球規模生物多様性観測システムの構築を GEO-BON に対して委任
- ・ 評価プロセス自体を点検するための自己点検メカニズムの構築

＜IPBES 組織構成案＞

